

令和7年度 京都先端技術研究会・定例技術会議（現地講習会）

ものづくりのための分析技術講座シリーズ 第4回

品質管理・研究開発に向けた分析技術

～炭素・硫黄分析～

主催 京都先端技術研究会

共催 京都市産業技術研究所ユースーズコミュニティ

近年、ものづくり現場では、品質管理や研究開発の高度化に伴い、それを支える評価技術の重要性が高まっています。その評価対象は金属・セラミックス・ナノ粒子などの材料特性の評価から、 casting・焼結・接合・表面処理・金属積層造形といった製造プロセス、さらには工程改善にまで広がっており、評価項目の中でも、「材料中の炭素・硫黄を調べたい」というニーズが増えています。代表的な用途は鉄鋼材料の炭素量測定ですが、近年では MEX 方式による金属積層造形体の残留炭素分析やセラミックス分野での脱脂・焼結時の炭素評価など、幅広い分野での活用が進んでいます。

また、「測定したことはあるが原理を詳しく知りたい」、「試料前処理や測定時の注意点などを知りたい」といったお声も多く寄せられています。

こうした背景を踏まえて、株式会社堀場製作所様ならびに株式会社堀場テクノサービス様のご協力のもと、ものづくりのための分析技術講座シリーズ第4回として『品質管理・研究開発に向けた分析技術～炭素・硫黄分析～』を下記のとおり開催いたします。本講座では、講義に加え、試験機の実演や見学も予定しており、より理解を深めていただける内容となっております。初心者から経験者まで幅広い方を対象としておりますので、業務や研究に役立つ知識習得の機会として、ぜひご参加ください。

記

日 時：令和7年12月3日（水） 13時30分～16時30分（13時00分～受付開始）

会 場：（株）堀場テクノサービス 6F テクノプラザ

〒601-8305 京都市南区吉祥院宮の東町2番地（裏面地図参照）

ア ク セ ス：JR 西大路駅・阪急西京極駅より徒歩15分

内 容：「炭素・硫黄分析」に関する講義、実演・見学

株式会社堀場テクノサービス 阪口 真以 氏

講義：13時30分～14時45分

- ・炭素・硫黄分析装置の基礎（原理と仕様）
- ・測定条件の最適化
- ・炭素・硫黄分析に関する分析事例 など

実演・見学：15時00分～16時15分

質疑応答およびアンケートご記入：16時15分～16時30分

（裏面に続く）

対 象：品質管理・研究開発に向けた分析評価技術に興味・関心をお持ちの方、経験者の方
定 員：先着 30 名 ※定員超過の場合のみお断りの連絡をします。
申 込 方 法：京都市産業技術研究所の参加申込フォームから申し込みください。
参加申込フォーム：
※申込確認メールが届かない場合はご連絡ください。

参 加 費：2,000 円 ※当日、会場受付にてお支払いください。※現金のみ
(ただし、京都先端技術研究会会員は無料および産技研 UC 会員は 1,000 円)

締 切 日：令和 7 年 1 1 月 2 6 日 (水)

問 合 せ 先：地方独立行政法人 京都市産業技術研究所内
京都先端技術研究会 担当：丸岡、山梨、南
〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町 91
TEL：075-326-6100(代表)、E-mail：kyoto-sentan_1985 (ato) tc-kyoto.or.jp、
※メールをお送りいただく際は、(ato) を@に変えてください。
<京都市産業技術研究所ホームページ：http://tc-kyoto.or.jp/info/seminar/>



参加申込フォーム

会場までのアクセス：



※会場は堀場テクノサービスです。
※車でのご参加はご遠慮ください。